

仙台銀行ビジネスクラブ主催

第19回 SBC  
講演会・交流会

2017年 2月22日(水)

会場 ホテルメトロポリタン仙台  
4階「千代の間」

14:00～18:00 (受付開始13:00～)

参加費

会員様無料

非会員様  
お一人5,000円

(別紙をご確認の上、  
事前にお振込みください。)

第1部

14:00～15:30

元陸上競技選手・北京オリンピック銅メダリスト

あさはらのぶはる  
朝原 宣治氏



演題 諦めなければ夢は叶う

1972年生まれ。同志社大学卒業。大阪ガス株式会社(近畿圏部地域活力創造チームマネジャー)。

同志社大学3年生の国体100mで10秒19の日本記録を樹立。その加速力から「和製カール・ルイス」と呼ばれた。大阪ガス株式会社に入社後、1996年アトランタオリンピック100mに出場。日本人選手として28年ぶりに準決勝に進出した。オリンピックには4回連続出場。自己最高記録は10秒02の日本歴代3位。2008年北京オリンピック4×100mリレーでは、悲願の銅メダル獲得。

現在は、陸上競技クラブ【NOBY T&F CLUB】の主宰者、一般社団法人アスリートネットワークの副理事長として「スポーツを通じた健康力の高いまちづくり」、「世界いち住みたいまちづくり」活動を推進している。

第2部

15:40～16:10

特別  
公演

ティーナ・カーリーナ

地域をつなぐ 世代をつなぐ  
「ひとり昭和歌謡祭」

大阪府池田市出身。元阪急百貨店サービス販売員(金バッジ受賞)という異色の経歴を持つ。2012年9月「あんた」でデビュー。同年第54回輝く!日本レコード大賞新人賞受賞。震災後まもない仙台に、彼女のデモテープが届いた。目頭が熱くなるほど情熱的でまっすぐな歌声、強い想いの込められた力強いメッセージ。奇しくも阪神淡路大震災を経験していた彼女の歌声が、復旧作業で慌ただしい日々を送っていたプロデューサーの心に響き、その瞬間、1,000キロ以上も離れた大阪と仙台が奇跡的に繋がった。こうして、音楽業界初となる“大阪出身・仙台発信アーティスト”ティーナ・カーリーナが誕生した。

